

2016年度 WUOC 報告書

東京大学 増田七彩

この度 WUOC に挑戦することができましたのは、私にとって得難い体験となりました。海外でのオリエンテーリングへの憧れから挑戦を決めたわけですが、想像以上の経験となりました。

まず、たびたびの JOA 合宿への参加があげられます。WUOC に挑戦することになるまでアドバンス登録をしていたわけでもなかったため、参加に積極的ではありませんでした。今年度は WUOC のために 2 度ですが JOA 合宿へ行き、参加者のレベルの高さとメニューの充実を感じ、刺激を受けました。WUOC 参加者独自の合宿もあり、練習機会の多さはやはり海外遠征に関わるものであると感じました。

また、海外に行ってまでオリエンテーリングをするという事実がモチベーションの維持にも一役買っていたように思います。院試の近さを言い訳にせずに暑い中でランニングできたと思います。

この度の私個人の結果は以下のようになりました。

ロング 66 位 2:15:32

ミドル 76 位 59:35

ロング競技ではビジュアル直後で大きなミスをしてしまいました。9.8 km という距離は今までほとんど走ったことがなく集中力にかけられる部分もあったのだろうと推測されます。体力・スピード・技術ともに力不足を感じました。

ミドル競技についても日本では見られないカルスト地形と藪による視界の悪さに苦戦しました。トレキャンの時点からドリーネ周りでの方向維持が課題であることが判明していたので意識することはできていたのですが、想定以上のやぶによりミスを引き起こしてしまいました。

総じて会心のレースができたとは言い難いものの、日本とは異なる地形、植生、また雰囲気の中で世界のトップレベルの選手を見てレースをすることができ、楽しむことができました。今後まだ海外でのレースへ参加する機会はあると思いますのでもっと良いレースをするためにも挑戦していきたいと思います。